

植物ウイルス名の記載法の統一についてのお願い

平成 24 年 12 月 20 日
植物ウイルス分類委員会

最近、学会発表の講演要旨において、ウイルス・ウイロイド名の記載法が統一されておられません。日本で発生し、和名があるにもかかわらず、和名を記載しないで学名だけを用いる場合や、学名のカタカナ読みをそのまま使う例、また最初から略号で記載している等です。この度、植物ウイルス分類委員会では、日本に発生するウイルス・ウイロイド（2012）のリストを作成いたしました。講演要旨にウイルス名を記載する場合には、このリストの和名に従い、次のように記載法を統一いたしますので、ご協力をお願いいたします。

記載例)

○日本での発生が報告されているウイルスの場合は“和名（学名，略号）”の順で記載する。ただし、学名を省略して“和名（略号）”でもかまわない。

- 1) トウガラシ微斑ウイルス(*Pepper mild mottle virus*, PMMoV) または
トウガラシ微斑ウイルス(PMMoV)
- 2) ジャガイモやせいもウイロイド(*Potato spindle tuber viroid*, PSTVd) または
ジャガイモやせいもウイロイド(PSTVd)

○日本での発生が報告されていないウイルスの場合は学名（略号）とする。

- 1) *Brome mosaic virus* (BMV)
- 2) *Cowpea mosaic virus* (CpMV)